

CS-204

役割分担からみたインフラ整備マネジメント論の体系化

清水建設株式会社 土木本部設計一部 中牟田 直 昭*

清水建設株式会社 土木本部 営業部 久 保 周太郎**

1. はじめに

インフラ整備マネジメント論の体系化には様々な切り口が考えられる。本研究ではその1つとして、インフラ整備の様々な段階・立場に関わる各関係者（プレーヤー）の役割分担の視点から体系化を試みた。

体系化試案作成に当たっては、各役割分担に関係するインフラ整備の制度・しくみを把握し、役割分担との関係を常に認識しておくことが重要と考え、制度・しくみ自体の構造も合わせて整理した。

2. インフラ整備の制度・しくみの相関関係の整理

インフラ整備の制度・しくみ自体の構造を理解するため、国際問題小委員会 制度構造分科会（平成9～10年度）にて56のインフラ整備の制度・しくみを抽出し、それらの目的と役割の関連を示す相関図（発表当日に提示します）を作成して制度・しくみ間の関連を整理した。

この結果、各制度が複数の目的をもっており、互いに相反する作用を及ぼす目的があったり、他の制度といろいろな関わりをしていることが分かった。また、制度・しくみの主な役割である効率性、公正性、平等性についても整理を行なった。

3. 役割分担からみた体系化試案

役割分担を論ずるにあたり、①各プロセスにおける役割という整備段階軸、②発注者、設計者、施工者、納税者等のプレーヤー軸、③国造り、地域造り等の整備規模軸の3つを軸に体系化を試みた。

以下に、役割分担からみた体系化試案及びそれぞれの項目に関係するインフラ整備の制度・しくみを整理した。

役割分担系からみた体系化試案と関係する制度・しくみ

役割分担 からみた体系化試案	関係する制度・しくみ
(1) 建設産業以外のプレーヤーの役割分担	
① 各プレーヤーの役割及び責任と権限	
a) 納税者(受益者、被害者)	PI制度、住民投票、不服申し立て 他
b) 環境保護団体	環境関連法、ISO14000、リサイクル法
c) ボランティア	NPO,NGO,他
(2) 建設産業内のプレーヤーの役割分担	
① 役割及び責任と権限	
a) 発注者	執行体制に関わるしくみ全般
b) 設計者	VE、PFI、デザインビルド 他

キーワード：プレーヤー、役割分担、体系化、制度・しくみの目的・役割と相関

連絡先：* 東京都港区芝浦 1-2-3 シンパズS館, TEL 03-5441-0588, FAX 03-5441-0511

** 同 上, TEL 03-5441-0636, FAX 03-5441-0353

c) 施工者	技術活用パイロット事業、建設技術評価制度 VE、PFI、デザインビルド他 管理法および許認可 他
② 法制度と役割分担()	
③ 各プロセスにおける役割分担	
a) 意思決定の役割分担	制度、公聴会、住民投票 他
b) 合意形成における役割分担	審議会制度、公聴会、住民投票、情報公開 法、PI制度、NPO、CORINS、TECRIS 他
c) 品質・コスト・技術に関する役割分担	ISO9000、経営事項審査、技術提案総合評価 方式、資格確認制度 他
e) 資金調達に関する役割分担	BOT、PFI、補助事業、財政投融资 他
f) 環境・安全に関する役割分担	ISO14000、環境関連法、リサイクル法、再資 源利用法 他
h) 人材・組織に関する役割分担	技術士制度、天下り、終身雇用制 他
i) 情報に関する役割分担	情報公開法、PI制度、地下公示制 度、CORINS、TECRIS 他
j) 危機管理に関する役割分担	罰則
(3) 中央と地方の役割分担	
① 国づくりにおける役割分担	国土利用法、環境関連法、他
② 地域づくりにおける役割分担	PFI、中小企業保護政策
③ まちづくりにおける役割分担	住民投票、PI制度、NPO、NGO、他
(4) 新たな役割分担	
① 合意形成方法の変化における役割分担	公聴会、住民投票 他
② 事業執行の変化における新たな役割分担	
a) 公共事業の目的(経済効率性と所得再配 分)	一般競争入札、発注ロット中小企業保護政 策、業者ランク 他
b) 多様な発注方式()	CM、PFI、VE、総合評価 他
③ 情報の取扱いにおける新たな役割分担	情報公開法、CALS 他
(5) ボランティア活動の役割	NPO、NGO 他
① ボランティア組織(NPO、MSO 他)	
② ボランティアと企業(ボランティア休暇、マッチングギフト、1%クラブ 他)	
③ ボランティア教育	

体系化試案が示すように、現段階では、様々な整備段階・規模での役割分担に各プレイヤーが重複して関わりあっており、そのためインフラ整備の制度・しくみも様々な段階で複数、かつ、重複して絡んでいる。また、ボランティア等の新たなプレイヤー、あるいは情報や環境に関わる新たな役割分担に位置づけも踏まえ、上記体系化試案を再整理する必要がある。

4. おわりに

インフラ整備の各プロセスにおける各関係者の役割とインフラ整備の制度・しくみは切り離せない関係にあるが、いたるところで重複したり、逆のケース（推進・規制）も見受けられる。今後、時代の変化とともに国民の価値観が多様化する中、全体の枠組みを含めて制度・しくみの修正に関する具体的解決策、新しい制度・しくみとプレイヤーとの関係という視点が常に着目できる資料となるようフォローしていく方針である。